

平成 24 年度事業計画書

I. 事業の状況

① 研究発表会、講演会等の開催（定款 4 条 1 号）

- ・ 定時総会を下記のとおり行う。
日時 平成 24 年 5 月 26 日
場所 未定 参加予定者数 110 名
- ・ 臨時総会を下記のとおり行う。
日時 平成 25 年 3 月 28 日
場所 立正大学 参加予定者数 110 名
- ・ 秋季学術大会を下記のとおり行う。
日時 平成 24 年 10 月 6 日～10 月 8 日
場所 神戸大学 参加予定者数 600 名 演題予定数 150 件
- ・ 春季学術大会を下記のとおり行う。
日時 平成 25 年 3 月 29 日～3 月 31 日
場所 立正大学 参加予定者数 900 名 演題予定数 250 件
- ・ 研究集会（日本地球惑星科学連合 2012 年大会で、主催セッション：「人間環境と災害リスク」、共催セッション：「地球環境変化の人的側面研究計画（国際セッション）」、「Global Land Project（国際セッション）」、「都市における極端気象（ユニオンセッション）」、「津波堆積物（一般セッション）」を下記のとおり行う。
日時 平成 24 年 5 月 20～5 月 25 日
場所 千葉県幕張メッセ国際会議場 参加予定者数 400 名 演題予定数 100 件
- ・ 地理教育公開講座を下記の通り行う。
 - (1) 日時 平成 24 年 10 月 6 日～10 月 7 日
場所 神戸大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件
 - (2) 日時 平成 25 年 3 月 29 日～3 月 30 日
場所 立正大学 参加予定者数 150 名 演題予定数 8 件

② 学会誌その他の刊行物の発行（定款 4 条 2 号）

- ・ 学会誌「地理学評論」（冊子体）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号	発行予定部数
平成 24 年 5 月 1 日	85	3	3,500 部
平成 24 年 7 月 1 日	85	4	3,500 部
平成 24 年 9 月 1 日	85	5	3,500 部
平成 24 年 11 月 1 日	85	6	3,500 部
平成 25 年 1 月 1 日	86	1	3,500 部
平成 25 年 3 月 1 日	86	2	3,500 部
- ・ 学会誌「Geographical Review of Japan Series B」（オンライン版）を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号
平成 24 年 6 月 1 日	85	1
平成 24 年 12 月 1 日	85	2
- ・ オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号
平成 24 年 9 月 30 日	7	2
平成 25 年 3 月 31 日	8	1

- ・「日本地理学会発表要旨集」を下記の通り発行する。

発行年月日	号	発行予定部数
平成 24 年 9 月 10 日	82	900 部
平成 25 年 3 月 10 日	83	1,200 部
 - ・日本地理学会 AJG Library（英文叢書）を、2冊程度刊行する。
- ③ 関連学術団体との連絡及び協力（定款 4 条 3 号）
- ・地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務める。
 - ・地理学連携機構に加盟し、代表を送る。
 - ・日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送る。また、関連する委員会に必要に応じて委員を送る。
 - ・人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会に加盟し、代表委員を送る。
 - ・自然史学会連合に加盟し、代表を送る。
 - ・日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送る。
 - ・関連他学協会・団体が主催する事業で本学会の趣旨に添うものを適宜後援する。
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 4 条 5 号）
- ・2012 年度日本地理学会賞を下記のとおり表彰する。
 - 優秀論文部門（若干名）
 - 若手奨励部門（若干名）
 - 論文発信部門（若干名）
 - 優秀著作部門（若干名）
 - 著作発信部門（若干名）
 - 地理教育部門（若干名）
 - 学術貢献部門（若干名）
 - 社会貢献部門（若干名）
 受賞者は日本地理学会賞受賞候補者選考委員会の推薦により理事会が決定する。
 - ・3 件程度の学術書に対して日本地理学会出版助成を行う。
 - ・若手研究者によるヨーロッパ研究に対して 2 件程度の助成事業を行う。
- ⑤ 資格認定および地理教育等の支援（定款 4 条 5 号）
- ・社会一般における GIS 利用の啓発・普及を進めることによって社会に貢献するために、GIS 学術士資格を認定する。
 - ・社会一般における地理学知識・技術の普及・利用を促進することによって社会に貢献するために、地域調査士資格を認定する。
 - ・科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会を共催し、地理学の普及につとめる。
 - ・「G 空間 EXPO2012」（平成 24 年 6 月 21 日～6 月 23 日、パシフィコ横浜）にてシンポジウムおよび資料出展を行い、地理学の普及につとめる。
- ⑥ 国際的な研究協力の推進（定款 4 条 7 号）
- ・2013 年 8 月 4～9 日に開催予定の「2013 年京都国際地理学会議 (IGU Kyoto Regional Conference in 2013)」に向けて、日本学術会議地球惑星科学委員会 IGU 分科会および同大会組織委員会と連携して開催準備を行う。
 - ・2012 年 8 月に中国の長春大学で開催予定の第 7 回中日韓地理学会議を、中国地理学会・大韓地理学会と共催する。
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款 4 条 7 号）
- ・2011 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震による災害に関して、調査研究に取り組むとともに、その結果を広く社会に還元することに努める。